

北広島 商工会 だより

平成26年3月1日号
第79号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	738名 (+9、-3)
商業	454名 (+7、-2)
工業	339名 (+2、-1)
青年	45名 (+3、-0)
女性	56名 (+0、-0)

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 高田 信夫
〒061-1121

北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212

shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

■新年交礼会

200名を超える参加



1月14日、札幌北広島クラッセホテルで当商工会主催の「新年交礼会・大名刺交換会」を、野原市長、野原道議会議長、冒頭、上原会長は「政権交代で全国的に景気は上向いているようだが、ほとんどの中小企業ではまだまだ回復の兆しを感じられない。」と「2020年に東京オリンピックの開催が決定したので、全国にその波及効果が及ぶよう期待している。」と「地域経済発展のためには、商工会員が一丸となり事業を推進するとともに、行政との連携を図りながら実施していくことが重要」との趣旨の挨拶をしました。

新年交礼会は、約1時間30分でしたが、新会員の紹介、会員相互の交流や異業種交流も活発に行われました。また、商業部会が検討を進めて

いるコンパクトシティの考え方を具現化した「東部・団地地区市街地模様」(道都大学の協力により作成)も大いに注目を集めました。

新年交礼会は、平成20年1月から始まり、今回初めて参加者が200名を超え、今年1年のスタートとして有意義なものとなりました。

■三角くじの実施結果について

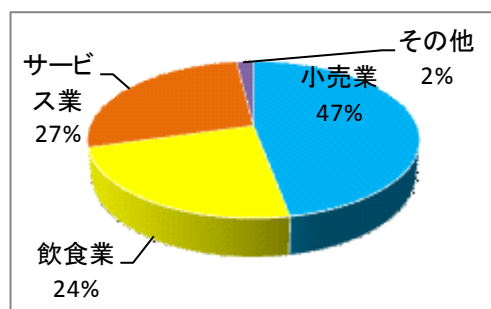
今回で3回目となった「お楽しみ三角くじ」には、106店舗が参加し12月16日から31日まで各店で実施しました。

抽選方法は昨年と同じく、買い物金額3千円毎、千円毎に1回抽選できる2種類のを各店の営業内容に応じ用意し、商品券か祈禱済みの5円が当たるもので、今年「まいピー賞」を追加しPR効果を高めました。

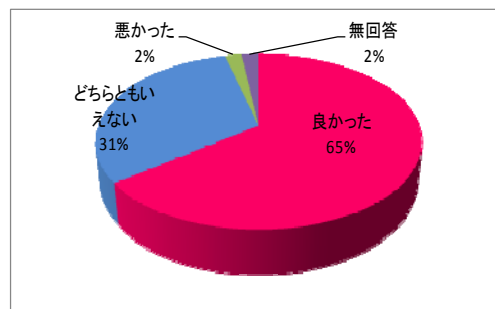
消費者から「なぜ三角くじをしないのか」と言われ今回実施をしたというお店もあり、高額商品は当たりませんが、その場で引ける手軽さから徐々に浸透してきたのではないでしょう。

また、事業者アンケートも実施しました。その結果は次のとおりです。

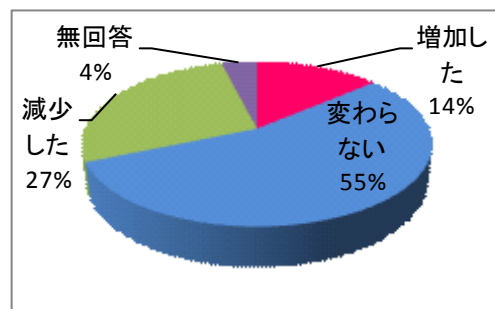
◆質問① あなたの業種は



◆質問② お客様の反応はどうでしたか



◆質問③ 期間中のお客様の入り込み状況はどうでしたか。



■補助金公募のお知らせ (設備整備・研究開発)

道では、「北海道循環資源促進税」の収収を財源に、産業廃棄物の排出削減やリサイクルに関する設備整備や技術研究開発への補助を行っています。

◇循環資源利用促進施設設備整備費補助金(設備整備補助金)

・補助対象事業

- ①自ら排出する産業廃棄物の排出量抑制・減量化、再資源化・製品化のための設備機器の設置
- ②他者が排出する産業廃棄物の再資源化・製品化のための設備機器の設置

・補助率 2分の1以内または3分の2以内

・補助限度額 1億円または3億円

◇リサイクル技術研究開発補助金(研究開発補助金)

・補助対象事業者

道内に事業所を置く事業者(個人または法人)またはそのグループ(代表者は道内事業者で、かつ構成員の半数以上が道内事業者であるものに限る)

・補助対象事業

産業廃棄物の排出抑制・減量化(自ら排出する場合に限る)および再資源化・製品化に資するための研究開発であつて、自らその成果の事業化をめざすもの。

・補助率 3分の2以内または2分の1以内

・補助限度額 1千万円

◇募集開始 平成26年4月1日

◇締め切り 平成26年5月中旬予定

◇詳細 北海道 循環税事業HP 参照願います

http://pref.hokkaido.jp/ks/junkanzei_index.htm

◇お問い合わせ先

北海道 環境生活部 環境局
循環型社会推進課 循環推進グループ(循環税担当)
011-231-4111 (内線24-331)

新会員紹介

◇商業部会◇

○Bakery&Cafe 幸工房 朝霧 優美 様

○Bakery&Cafe 幸工房 中央6-9-4

○株Style Labo 大澤 友勝 様

○株Style Labo 美沢 3-6-10

○株ジームテック 辻村 匠 様

○株ジームテック 高台町6-8-6

○エステールポナール 和田 倉吉 様

○エステールポナール 大曲幸町1-5-16

○株ワッツ 村上 正博 様

○株ワッツ 美咲野2-7-12

○食べ呑み処 佐藤 真弓 様

○食べ呑み処 佐藤 真弓 様

○食べ呑み処 大曲緑ヶ丘1-8-1

◇工業部会◇

○フィールド倶楽部株 見上 真司 様

○フィールド倶楽部株 大曲工業団地4-1-2

○泉澤測量設計株 泉澤 誉一 様

○泉澤測量設計株 大曲南ヶ丘1-3-2

○今後の街づくりを考える
～都市機能・居住人口の集約～

当商業部会では、街づくりの基本的な考え方として「コンパクトシティ」について検討を進めており、先進事例である千葉県佐倉市ユーカーが丘、東京都三鷹市のまちづくりを、2月16日・17日の日程で視察しました。

ユーカーが丘は、昭和46年に不動産会社である山万樹が開発を始め、昭和54年に分譲を開始。東京駅からは電車で47分という立地にあり、認可外保育園などの子育て施設、ホテルや温泉、大型商業施設も建設されています。また都市部と連結する環状モノレールと乗車無料の循環型電氣バスも運行するなど、同社とそのグループが総合的に運営管理を行っています。

また、ユーカーが丘内限定の住替えサポート「ハッピーサークルシステム」を構築。バリアフリー型マンションへの住替えを希望するシニア世代の戸建て住宅を買い取り、リフォームをして若い世代に安価で販売。さらに年間の住宅販売戸数を200戸以内で限定することで、一気に高齢化率が上昇しない工夫もしています。早期にコンパクトシティに取り組んできたことから、自立した循環型地域社会が形成され、佐倉市全体では人口が減少する中、ユーカーが丘は増加し続けているとのことです。

（※現在1



万7千人弱。計画人口3万人。高齢化率21.3%

一方、三鷹市は「三鷹市と株式会社まちづくり三鷹との協働に関する条例」に基づき、三鷹市全域のまちづくりを総合的に支援することを目的に、第三セクターとして（株）まちづくり三鷹を平成11年9月に設立。駅前の活性化と工場移転による法人税減少対策として、S O H O（パソコンなどの情報通信機器を利用して、小さなオフィスや自宅などでビジネスを行っている事業者）に注目。駅前の雑居ビルやコンビニの2階を改装したり、ビルを建設し業務ユニットを形成し、入居（開業）してもらっています。利用者からは家賃も安く、情報交換の場にもなり取引や提携もできるとあって好評とのことです。

コンパクトシティとは、都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、もしくはそれを目指した都市政策のことです。

北広島市においても、高齢化と人口減少が今後ますます進むことが予測されています。地域住民の利便性、行政の効率化を考えるとコンパクトシティという考え方は非常に合理的です。今回の視察は、循環型地域社会の形成と企業誘致による中心街活性化について大変参考となるものでした。



○第28回ふれあい雪まつり

運営協力



市観光協会主催の「第28回北広島ふれあい雪まつり」が、2月1日・2日、総合体育館横のイベント広場で開催され、好天の中大勢の来場者で賑わいました。今年も、（株）シヨップイング北広（栄町）、シヨップイングつむら（朝日町）、（有）菱畜フーズ（広葉町）の自家製ジンギスカンを食べ比べる「寒地焼肉まつり」を初めて実施し、家族連れなどで賑わいました。また、昨年に引き続き花火大会も行われ大変好評でした。

当会青年部は、「ジャンボすべり台」や「人間ボウリング」、「スノーモービル」などの運営を担当。さらに東北復興支援として南三陸町の「笹かまぼこ」や「さつま揚げ」、柴田町の「ゆず豆腐」、多賀城市と名取市の日本酒などを仕入れ、全て売り尽くしました。

会場の警備などにも携わったことから、安全対策にも神経を使いましたが、混乱もなくスムーズな運営ができました。

○寒い冬こそ外遊び

～親子で体力アップ～

2月15日、16組32名の親子が参加した「冬の親子元気アップフォーラム」の運営に協力しました。

た。

近年、テレビゲームやパソコンの普及により、子どもの体を動かす機会が減少したことで、全国的に体力・運動能力が低下しています。特に北海道などの雪国は冬期間屋内に閉じこもりがちになります。この事業は「寒い冬こそ外遊び」をテーマに運動習慣のきっかけづくりをすることを趣旨として石狩教育局の主催で実施され、体力アップに関する講習会や親子で4種目の「雪遊びラリー」が行われ、当青年部は「雪冷アイスクリームづくり」を担当しました。アイスクリームの作り方は、ジップロックに牛乳、生クリーム、砂糖を入れ、ガムテープでしっかりと密封し、さらにそれを大きいジップロックに入れて雪と食塩を入れることで冷やします。それを新聞紙でぐるぐる巻きにしてパスし合うことで攪拌され、いつの間にか出来上がっているという仕組みです。



楽しみながら運動ができ、おいしいものも食べられるという一石二鳥の遊びでした。肝心の食べべえも上々で、閉会後に親子で食べました。

また当日は、参加した子供達に「まいピーシール」を配り北広島市のPRもしました。

○道内視察研修

2月23日、24日、道内視察研修を実施しました。

視察先の白老町商工会青年部は、地域振興事業として毎年七夕前後に「ちびっこフェスティバル」を主催。将来を担う子供たちに思い出を作りたいという目的で始まったイベントは、今年度で14回目を迎え、子供向けイベントや縁日、花火大会など盛りだくさんで開催されています。



さらに大人向けには「ビアガーデン」を実施し大人も子供も楽しめるイベントとしています。また白老版の街コンである、「しらおい美食ドライブ」を実施。20歳から40歳までの独身男女を対象としてホームページやフェイスブックなどで募集し、平成25年度は男女36名が参加しました。男女2名ずつの4名1組となり、町内をドライブして白老町に関するミッションを協力してクリアしていくものです。白老町の魅力を知り町内外にPRしてもらおうとともに、男女の出会いの場としても非常に効果があるとのことでした。

研修は、副部長が経営する山本虹鱒場で行われ、昼食に出される虹鱒を悪戦苦闘しながら自分たちで釣る体験と青年部同士の意見交換もでき有意義なものとなりました。



○女性部指導者中央研修

2月19日、札幌ガーデンパレスで女性部指導者中央研修会が開催されました。



これは女性部全国大会の主張発表の予選でもあり、今年は八雲、沼田町、豊富町、きたみ市の商工会女性部が発表しました。

最優秀賞は、八雲商工会（旧熊石町）の干場副部長でした。旧熊石町と山を挟んだ八雲町との町村合併により、商工会も合併。

女性部も同様に一つとなったことから、八雲のイベントをお手伝いした時、下準備がとて見事で、それを自分達の町の一大イベント「あわびのまちフェスティバル」でも活かすことができたとのことでした。また、その事業を一から起こした苦労や楽しみを、優しく親しみやすい口調で発表されました。

優秀賞には、きたみ市商工会（旧常呂町）、敢闘賞は沼田町と豊富町となり、どの主張発表も優れたできばえで当商工会女性部の活動にも大変参考になりました。

今後八雲町商工会は、例年10月に実施される全国商工会女性部連合会の全国大会に北海道代表として出場することになります。

○にぎわい・魅力づくり

プロジェクトの取組

吉田商業労働課長大いに語る

2月21日、商工会館にて市経済部商業労働課の吉田課長を迎え懇談会

を実施し、「にぎわい・魅力づくりプロジェクトの取組について」というテーマで講話いただきました。

広島村（現在の北広島市）の由来は、明治17年に広島県人25戸103人の集団移住によることや紅葉と楓の形が似ていることから市の木が「かえで」になったこと。道営団地の造成による急激な人口増加と市制

施行までの経緯、中山久蔵翁の米作りが果たした大きな役割など北広島市の歴史も含め広範囲にわたりご教授いただきました。

クラーク博士が島松駅通所で残した名言「ボーイズ・ビー・アンビシャス」のフレーズは大変有名ですが、後に続く言葉「Like this old man」（この老人のように）は意外に知られていません。「この老人のように」は誰のことなのか。クラーク博士本人、中山久蔵翁を指したという諸説があるそうです。北海道農業を酪農と位置づけたクラーク博士、かたや米作りに並々ならぬ精魂を費やした中山久蔵翁どちらのことか不明ですが、大変興味深くおもしろいお話も聞くことができました。



北広島市は「何もない」とよく言われ、市外にどのような形でシティセールスを展開していくかが課題ですが、市民の方々にもしっかりと地元のことを知ってもらい、郷土愛を持って市外にその魅力を発信していくことが一番ではないかという話がありました。



■商工会手数料等に関する消費税の取り扱い

4月1日より消費税率が5%から8%に変更となります。これに伴い、当商工会でも記帳機械化や労働保険の資格取得・喪失などに関する各種手数料、物品の貸し出し等に関する各種使用料、物品の販売価格につきましては、平成26年4月1日より新税率8%を適用させていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 協会けんぽ北海道支部からのお知らせ ◆

平成26年3月分(4月納付分)保険料から介護保険料率が変わります

協会けんぽの健康保険料率は平成25年度に引き続き、準備金を取り崩して据え置くことといたしましたが、介護保険料につきましては、介護給付費が年々増加し、協会けんぽが負担すべき介護給付金も増加していることから、引き上げざるを得ない状況となっております。厳しい経済状況の中ではありますが、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

◇平成26年度北海道支部保険料率

①40歳以上65歳未満の加入者ご本人（被保険者）さま

現在 11.67% → 11.84%
(健康保険料率10.12% 介護保険料率1.72%)

②上記①以外の加入者ご本人（被保険者）さま

現在 10.12% → 10.12%
(健康保険料率は据え置きのため)

◇健康保険証は必ず回収・返却いただきますようお願いいたします。

退職などの理由による資格喪失や扶養家族の就職などの理由による扶養解除について、被保険者（または被扶養者）の資格を失ったあとは健康保険証を使用することはできません。

資格を失った方の健康保険証は確実に回収いただき、資格喪失届（または被保険者異動届）に添付のうえ速やかに管轄の年金事務所へご返却いただきますようお願いいたします。

なお、使用できない健康保険証を提示して医療機関を受診した場合には、医療費（総医療費の7～9割）をご返却いただくこととなりますのでご注意ください。

お問い合わせ先 全国健康保険協会北海道支部
電話011-726-0352（代表）

平成25年度リサイクル事業人材育成セミナーのご案内

- 開催日時
3月25日(火)9:30~16:15<1日目/講義>
3月26日(水)9:30~17:10<2日目/事業所見学>
- 開催場所
(1)講義
・北海道庁 地下1階 大会議室（札幌市）
(2)事業所見学
・(株)アレフ 北海道工場（恵庭市）
・えこりん村（恵庭市）※昼食
・フジッコ(株) 北海道工場（千歳市）
・リサイクルファクトリー(株) 千歳事務所（千歳市）
- 対象者
(1)リサイクル製品の製造に新たに取り組むことを計画（予定）している産業廃棄物処理業者、製造業者、建設業者
(2)リサイクル製品を製造している事業者で、新製品の製造など、新たに事業展開を計画（予定）している事業者
(3)自社独自で、または他の事業者と協力して、廃棄物の排出抑制・減量化・リサイクル等の取り組みを進めたいと考えている事業者（※食品製造業、飲食店チェーン等）
- 定員
100名※事業所見学のみ、定員を先着40名。
- 受講料
無料 ※ただし事業所見学の昼食代は各自負担。